

表4 COVID-19疑い・陽性妊産婦への対応

対応基準	COVID-19以前	緊急事態宣言前 (3/ ~)	緊急事態宣言中 (4/7~5/25)	緊急事態宣言解除後 (5/25~12/)
スタッフの配置と管理	疑い時	<p>【受け持ち人数制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑い患者1名のみを担当(3) ・かかわるスタッフを決めている(4) <p>【入院場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個室(3) ・陰圧室(1) ・救急病棟(感染症病棟)(1) ・*他病棟に入院する場合は、産婦人科病棟より助産師もしくは看護師を1人派遣し対応 <p>【疑い患者対応時の感染対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者と接触するときは、マスク(N95)、手袋と長袖ビニールエプロン、フェイスシールドを着用(1) ・点滴交換などで直接触れない場合はマスク手袋とビニールエプロンを着用(1) 	<p>【受け持ち人数制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1対1(1) <p>【入院場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・MFICU内の陰圧室(1) <p>【疑い患者対応時の感染対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑わしい人を受け持つときはスタンダードプリコーション徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準なし(9) ・*結果が確定するまでは陽性患者と同等の対応を行う
	陽性	<p>【受け持ち人数制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け持ち人数制限しスタッフ1名で担当(1) ・陽性者は全員搬送(1) 	<p>【受け持ち人数制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可能なら疑い患者1名のみ受け持ち(3)60% ・同じスタッフができるだけ関わる(1)20% ・最小限の人数で関わる(4)50% <p>【入院場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陽性または疑い患者専用個室(1)20% ・他病棟入院の場合、産婦人科病棟より助産師1名を派遣 ・陽性者は全例搬送 <p>【疑い患者への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者との接触時はマスクN95、手袋、長袖ビニールエプロン、フェイスシールドを着用(1)20% ・直接患者に接触しない(点滴交換など)時は、サージカルマスク、手袋、ビニールエプロンを着用(1)20% 	<p>【受け持ち人数制限】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ病棟入院で、NST判読は助産師が派遣され判読(1) ・部屋ごとに受け持つ(1) ・1対1(1) <p>【入院場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本搬送だが、分娩切迫時コロナ病棟入院にて救急で分娩(1) ・救急病棟に入院し産婦人科病棟から助産師もしくは看護師1名を派遣(1) ・MFICUの陰圧室(1)
受け入れ手順	疑い時	<p>【取り決め事項(フロー)など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ専用の問診に1つでも該当すれば産科医とICTに報告(1) ・他患者と接触しないよう決められたルートでの来棟を指示(2) ・入院後PCR検査(1) ・来院前の妊婦と家族の体調確認(2) ・マニュアルは随時更新(1) <p>【フロー】</p> <p>あり(3) なし(1)</p>	<p>【取り決め事項(フロー)など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発熱かつ呼吸器症状がある場合は、電話相談後特別外来受診 ・処置・診察はLDRの陰圧室で実施 ・専用ルートで個室に搬送 ・防護具はサージルマスク・長袖エプロン・手袋・ゴーグル <p>【フロー】</p> <p>あり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基準なし、または記載なし(9) ※2
	陽性時	<p>【取り決め事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陽性者フロー図あり(5)63%(他の施設は、疑い患者のフロー図あり) ・抗原検査後に病棟個室に入室、夫の入室もできるが出入りは禁止 ・基本搬送するが受け入れ施設の状況で、当該施設において入院、分娩を行う(1) ・陽性者受け入れ病院に搬送を検討 ・当院受け入れが必要な場合はMFICU室の陰圧室を準備 	<p>【取り決め事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本搬送だが分娩が切迫している場合は救急での分娩 ・陽性になった時点で搬送 ・無症状で専用病棟に空床があれば受け入れる(1) 	
スクリーニング方法	疑い時	<p>【PCR検査対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OP予定は全例(1) ・感染の疑いや家族が陽性で濃厚接触者になったとき(2) ・児(1) ・パートナーは陰性であれば分娩立ち会い可(任意)(1) ・妊婦のスクリーニングは実施していない(2) <p>【時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・36週以降にPCR実施(希望者に妊娠中1回のみ実施・助成あり)(2) ・予定日超過などの管理入院、予定帝王切開の入院は保険扱いでもう一度入院前に検査(1) ・早期産が予想されるケースは担当医が検査時期を決定(1) 	<p>【PCR検査対象者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・COVID19確定例と接触があり37、5以上の発熱を伴う呼吸器症状がある、または臨床経過からCOVID19を強く疑う妊産婦(2) <p>【時期】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定帝王切開：前日PCR ・37週・40週で定期PCR ・*基本的には受け入れしない(1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準なし、または記載なし(9) ※3
	分娩介助など	<p>【場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陰圧室・換気ができるLDR・分娩室・OP室仕様のLDR(3) ・基本、手術室の陰圧室でC/S。分娩進行すれば感染症患者を取扱う分娩室(1) ・分娩第1期は感染症病床(1) <p>【人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レドゾール(分娩室)：産科医師1~2名、助産師1名(必要時NICU医師1名) イロゾール：助産師1名(2) ・産婦：マスク着用 ・家族の入室は不可。 <p>【児】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母のCOVID陽性が確認されればNICU入院(2) 	<p>【場所】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ専用病棟 ・分娩は感染症用分娩室(陰圧室) ・分娩第1期は救急病棟(感染症病床) ・CSは専用ルートを通り、OP室陰圧室 <p>【人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分娩時は産科医師、直接介助者、間接介助者、小児科医、小児科看護師の5名(2) *最少人数 	<ul style="list-style-type: none"> ・基準なし、または記載なし(9) ※4
産後の病室	陽性時	<p>【場所、人、児への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個室で助産師1名対応(1) ・分娩第1期は救急病棟(感染症病棟)または陰圧分娩室(1) ・分娩時は、産科医師、直接介助者、間接介助者、小児科医、小児科看護師5名で対応 ・呼吸器症状なく順調に進行する場合は経膈分娩とし、呼吸器症状がある場合は帝王切開 ・児は感染症扱いで隔離 	<p>【場所、人、児への対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・搬送 ・救急外来で助産師1名で対応 ・専用病棟で対応 ・出生まで2時間程度なら経膈分娩を考慮し、それ以上なら陰圧手術室にて帝王切開 ・専用ルートを通して手術室へむかう ・陰圧のかかるLDR、MFICU室を使用 ・長袖エプロン、N95マスク、手袋、ゴーグル、キャップ着用 	
	陽性時	<p>【場所、スタッフの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個室対応(1) ・感染症病棟入院にて産科病棟スタッフ管理(1) ・転倒の確認 	<p>【場所、スタッフの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的に搬送のため決まっていない(2)25% ・分娩後EICU(2)へ移動し、コロナ病棟に入院となり産科スタッフを派遣もしくは電話対応 ・陰圧のかかるLDR、MFICU室を使用 	
産後の指導	陽性時	<p>【母乳、授乳、退院指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・方針が決まっていない施設多い ・母子ともに陰性が確認できるまで母乳禁止 ・母乳希望される方は搾乳で対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・母乳の取り扱いについては施設により異なる ・指導時、PPEを装着 ・指導時のみ防護装着にて行なう ・搾乳器は使用しない ・搾乳は、廃棄 ・母乳を希望される場合は、搾乳で対応 	

※1 病棟の状況に応じて夜勤勤務者を増やし対応している。夜勤での感染者専任対応スタッフを配置できるかが課題

感染対策ロードマップを作成している

※2 感染者専用個室を1部屋常に確保し、夜勤、日祝などベッドコントロールに困らないようにマニュアルの随時更新をしている

※3 児はPCR2回陰性を確認し隔離解除し、母親の陰性を確認し同室開始
分娩前、入院前のPCR検査を実施しているが、対象者の同意がえられた時のみ
得られない方は、検査せず陰圧室での対応
妊婦とパートナーに対する公費助成を利用する施設あり

※4 空調の関係で、帝王切開はOP室使用のLDRで実施する